天沼中学校校舎改築基本方針(修正案)新旧対照表

		応して、生徒が学びの充実を実感できる学校 	時代の変化に対応して、生徒が学びの充実を実感できる学校
目標	票1 多様な		タ样な教育に対応し、 学校の洋彩な教育工科とサミュ学はゴノ
		教育に対応し、活発な <u>学校</u> 活動を <u>行</u> える学校づくり 	多様な教育に対応し、 <u>学校の</u> 活発な <u>教育</u> 活動を <u>支</u> える学校づく り
	取組A	多様な教育に対応できる学習環境の整備	<u>学年単位から少人数、個人など様々な人数での</u> 多様な教育に対 応できる学習環境の整備
	取組B	生徒の学習意欲を支える I C T 教育環境、校内情報ネットワーク、ラーニングセンター機能の充実	生徒の学習意欲を支える C T 教育環境や校内情報ネットワーク、ラーニングセンター (図書室)機能の充実
	取組C	行事や部活動を活発に行える校庭 <u>環境の</u> 確保 <u>と</u> 整備	学校行事や部活動 <u>などが一層</u> 活発に行える <u>よう</u> 校庭 <u>面積を</u> 確保 するとともに適切な素材を使用した校庭環境の整備
目標	票 づくり		地域の公共財として 将来にわたって使い続けられる柔軟性のある学校づくり
	取組D		多目的室等を配置するなど、今後の新たな教育内容や教育方法、将来の学級数の変化に弾力的に対応できる施設
目標Ⅲ	取組E	長期的な施設利用を想定し、施設の維持管理が容易で、地域	長期的な施設利用を想定し、施設の維持管理が容易で、地域 ニーズの変化に柔軟に対応し、ユニバーサルデザインに配慮し
	票 教職員	転用も可能な、魅力を維持・発展できる校舎 や支援者が活動しやすい学校づくり	<u>た</u> 将来の転用も可能な、魅力を維持・発展できる校舎 教職員や支援者が活動しやすい学校づくり
	取組F		授業や生徒指導、また授業準備や教材研究など、教職員 <u>の</u> 働き やすさに配慮した施設計画
	取組G	PTAや学校支援本部などによる学校を支える活動に配慮した施設計画	
【ビジョン 2 】 環境	 竟に優しく.	女全で快適に過ごせる学校	環境に優しく、安全で快適に過ごせる学校
l - —		竟に配慮し、周辺環境と調和した学校づくり	自然環境に配慮し、周辺環境と調和した学校づくり
	取組H	<u>省エネルギーや自然エネルギーなどに配慮するとともに、生</u> <u>徒たちが</u> 自然 <u>の力を感じる</u> 施設計画	環境負荷を低減する設計とエネルギー効率の良い設備の導入に より持続可能で自然環境にやさしい施設計画
	取組I	閑静な住宅地である天沼地域の周辺環境と調和した学校	閑静な住宅地である天沼地域の周辺環境と調和した学校
目標	票V 安全・	- 安心で居心地の良い生活空間としての学校づくり	安全・安心で居心地の良い生活空間としての学校づくり
	取組亅	生徒が安心 して友人や教員等と <u>集い</u> 過ごせる空間の創造	現在の校舎の廊下にあるベンチや昇降口にあるサロンなどのような、生徒が安心して友人や教職員等と交流でき、自由にリラックスして過ごせる空間の創造
	取組K	<u>利用者</u> が安心して <u>通える</u> さざんかステップアップ教室」の整備	<u>児童生徒が</u> 安心して <u>自分なりに過ごせる場、保護者が安心して</u> <u>通わせることができる場としての</u> 「さざんかステップアップ教室」の整備
	取組L	学校生活時、地域開放、 	不審者の侵入防止等に必要なセキュリティ対策を施すととも に、中学校の生徒等とさざんかステップアップ教室の児童・生 徒の動線等に配慮し、 <u>すべての利用者</u> が安全で快適に過ごせる
【ビジョン3】 地均	■ ┃ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	 として、地域に開かれ、地域とともに歩む学校	配置計画 地域の活動拠点として、地域に開かれ、地域とともに歩む学校
目標	票VI 学校の 学校づ	云統と特色を生かし、地域に支えられ、地域の活動を支援する くり	大沼地域の住民と共に創る「学びのプラットフォーム」として の学校施設の整備
	取組M	<u>学校の歴史と伝統を継承した施設</u>	生徒や卒業生、地域住民等の学びのニーズに応え、生涯にわたり、学び合い、教え合いが生まれ、学びを深めることができる施設計画
	取組N	学校を支える地域とのつながりを重視し、地域の活動拠点と なる施設	学校と多くの地域住民がつながり、地域の活動拠点として、多様な交流、体験・学習活動ができる施設計画
	取組〇	多様な利用者のためにユニバーサルデザインに配慮し、地域 開放の際のセキュリティを確保した施設計画	生徒や教職員が安心して学校教育活動ができるよう、学校開放 の利用者の動線を区分けし、適切なセキュリティを確保した施 設計画
目標	票VII地:	」 域の防災拠点として必要な機能を備えた施設	天沼地域 <u>の貴重かつ重要な</u> 防災拠点として必要な機能を備えた 施設
	取組P	地域の防災拠点 <u>(震災救援所)</u> として <u>必要な<mark>防災設備</mark></u> <u>等の整備</u>	<u>天沼</u> 地域の防災拠点 <u>として、防災活動に</u> 必要な <u>資機材が</u> <u>発災時に取り出しやすい位置に防災倉庫を設ける配置計画</u>
	取組Q	災害に強く 避難 や救援活動が円滑に行える 施設	災害に強く <u>発電機やマンホールトイレ等が整備されるなど、天</u> <u>沼地域の住民の</u> 避難 <u>場所として活用できる</u> 施設